

## 6. 林業普及指導事業

### (1) 農林技術調整会議林業分科会要望課題検討会の採択状況

年 度	要 望 課 題	区 分
平成11年度	1. スギ非赤枯性溝腐病被害部分の利活用について 2. 造林マットの開発 3. 海岸部湿地における森林造成手法の検討 4. シイタケ栽培方法別のパソコンによる経営分析ソフトの開発 5. ヒノキの漏脂病 6. U字溝の蓋に間伐材を利用した場合の耐用年数などについて 7. 森林所有者の森林所有意識の変化調査 8. 松くい虫被害に対する抵抗性（アカマツ）品種の選抜について 9. 埋立地における森林造成技術の確立 10. 松くい虫特別防除区域と地上防除区域との被害の差について 11. 施業放棄林分の風致・景観林への再生手法について 12. ギンナンの着花・結実を早める技術の開発 13. ギンナンの優良品種の開発	B <sub>1</sub> , D, F F B <sub>1</sub> F D D A <sub>1</sub> D B <sub>1</sub> B <sub>1</sub> A <sub>2</sub> C→E C→A <sub>1</sub>
平成12年度	1. スギ・ヒノキ等人工林内に進入したモウソウチクの薬剤による駆除について 2. 間伐手遅れ林分の管理技術指針の作成 3. 間伐材の有効利用について 4. 間伐材の流通情報システムの開発について 5. ギンナンの果肉の成分分析及び、その有効利用法について 6. 海岸県有保安林における樹種管理について 7. 山間部において実播工を実施する場合の使用する種子の選択・組合せの決定方法について 8. スギ非赤枯性溝腐病の被害部分の利活用について 9. 造林マットの開発 10. シイタケ栽培方法別のパソコンによる経営分析ソフトの開発	D C A <sub>1</sub> D D B <sub>1</sub> D F→F F→F F→F
平成13年度	1. 砂利採取跡地等の植生回復方法について 2. 千葉県における森林の有する公益的機能の経済的再評価 3. スギ材の用途選別技術の開発 ①含水率測定器の精度検証 ②硬さ・密度測定器による測定 ③グレーディングマシンによる非破壊強度評価法 4. 長期育成循環施業の技術的合理性の検証と施業体系の作成 5. ヤマビル防除対策 6. 間伐手遅れ林分の管理技術指針の作成 7. スギ非赤枯性溝腐病被害林分の利活用について 8. 造林マットの開発 9. シイタケ栽培方法別のパソコンによる経営分析ソフトの開発	D B <sub>1</sub> E B <sub>1</sub> B <sub>1</sub> B <sub>1</sub> D C→C F→F→G F→F→G F→F→G

注) 区分

- |                      |                         |                       |                       |
|----------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|
| A <sub>1</sub> 翌年度採用 | A <sub>2</sub> 翌々年度採用予定 | B <sub>1</sub> 県内で実施中 | B <sub>2</sub> 県外で実施中 |
| C 現地調査の上検討           | D 既に知見                  | E 実施不可能               | F 技術調整部に付託            |
| G 解決済み               | H その他                   |                       |                       |

年 度	要 望 課 題	区 分
平成14年度	1. 房総のヒメコマツの保全について 2. 千葉県における里山林整備指針の作成 3. 樹皮を、ペレット状やボード状に加工して有効利用できないか検討を要望する 4. 丸太の葉付き乾燥技術の確立と人工乾燥コスト低減に及ぼす影響 5. 間伐手遅れ林分の管理技術指針の作成	B B B B, A C→C→B
平成15年度	1. マテバシイ林の管理方針について 2. 低湿地に造成した海岸防災林管理の検討 3. 富津海岸保安林における既設防風施設（防風ネット）の見直しについて 4. 森林土木事業における法面緑化工法の検討 5. マテバシイ林の防災的見地からの適正管理	C A B A C

注) 区分（平成14年度から採用基準が変更になる）

- |                |
|----------------|
| A 新規課題として採用する  |
| B 新規課題として採用しない |
| C 現地調査のうえ検討する  |
| D 技術調整部に付託する   |

## (2) 平成15年度林業専門技術員活動実績

専門項目	人員	活動場所						計
		本庁	出先事務所	試験研究機関	研修施設等	現地	その他	
造林	2	1,348	216	868	80	591	144	3,247
特用林産	1	952	8	48	—	180	67	1,255
森林保護	1	1,032	24	112	416	232	8	1,824
林業機械	1	1,460	28	11	28	251	4	1,782
林産	1	26	8	1,441	32	318	64	1,889
森林機能	1	1,058	4	6	20	112	120	1,320
計	7	5,876	288	2,486	576	1,684	407	11,317

## (3) 平成15年度林業改良指導員活動実績

普及の対象等		個別指導				集団指導						
普及指導の内容	林家	会社等の事業体	市町村	森林組合	林家	会社等の事業体	市町村	森林組合	林研グループ	青少年		
林業経営	578	35	319	75	35	20	60	23	32	15		
造林	522	21	145	57	77	34	—	87	72	53		
森林保護	224	17	86	2	30	8	7	44	28	3		
林産	52	119	42	54	8	18	30	107	16	12		
特用林産	872	78	46	1	314	67	22	23	12	176		
林業機械	21	12	6	6	19	—	8	—	32	16		
普及方法	608	103	104	18	174	51	29	10	443	631		
森林機能保全	98	38	224	33	149	69	27	38	21	74		
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
計	2,975	423	972	246	806	267	183	332	656	980		
手段別方法	直接	現地	1,040	120	261	112	466	125	36	262	502	802
		林家等への訪問	1,182	174	129	67	107	44	21	43	37	138
	林家等への訪問	167	48	183	22	66	7	21	18	25	12	
	間接(電話、手紙)	586	81	399	45	167	91	105	9	92	28	

(単位：時間)

活 動 内 容							1 活 人 動 あ 時 た 間 り の 間	備 考
A G の 指 導	調 査 研 究	A G 以 外 の 指 導	連 絡 調 整		普 及 指 導 の 準 備	そ の 他		
			教 育 機 関 研 究	市 町 村 の 政 府 部 門				
248	1,120	315	40	104	384	1,036	1,624	
83	206	131	61	85	363	326	1,255	
88	168	304	56	168	416	624	1,824	
204	466	142	65	246	630	29	1,782	
46	1,267	270	50	—	152	104	1,889	
105	827	153	32	75	101	27	1,320	
774	4,054	1,315	304	678	2,046	2,146	1,616	

(単位：時間)

小 計	情報収集	連 絡 調 整			普 及 指 導 の 準 備	研 修 受 講	事 業 所 内 普 及 指 導 打 合 せ	普 及 関 係 事 務 報 告	そ の 他	計	1 人 当 り 活 動 時 間
		S	P	そ の 他							
1,192	745	20	133	755	39	45	199	175	3,303	236	
1,068	402	27	89	531	84	20	169	43	2,433	174	
449	147	38	5	192	47	6	45	11	940	67	
458	117	9	5	212	116	22	95	73	1,107	79	
1,611	365	9	97	1,298	130	8	138	85	3,741	267	
120	25	5	13	100	90	12	28	—	393	28	
2,171	418	57	97	1,654	159	90	327	449	5,422	387	
771	250	22	58	329	48	22	47	93	1,640	117	
—	—	—	—	—	62	3	6	872	943	67	
7,840	2,469	187	497	5,071	775	228	1,054	1,801	19,922	1,423	
3,726											
1,942											
569											
1,603											

#### (4) 研修及びシンポジウムの実施

研修の名称	目的等	対象者	人員	時期	場所	講師	研修等の内容	評価
全員研修	普及指導職員の資質の向上を図る	林業改良指導員・林業専門技術員	21人	15年4月28日	千葉県教育会館	林業専門技術員	普及指導業務について	普及指導業務の計画的推進を確認した
			74人	16年1月19日	千葉県文書館	林業専門技術員	林業普及成果発表	普及指導の実績を発表した
特技研修	森林・林業教育の指導方法の研修	林業改良指導員	11人	15年7月23日	君津亀山少年自然の家	林業専門技術員	森林・林業教育について	小中学校生徒に対する体験林業の指導方法を習得した
	素材の日本農林規格の格付けに関連する技術と知識の研修	林業改良指導員	12人	15年8月26日	森林研究センター	林業専門技術員	素材の格付けと検査方法について	素材の日本農林規格の格付け方法を習得した
	マツクイムシ、スギカミキリ及びタケの森林被害防止についての研修	林業改良指導員	13人	15年9月5日	森林研究センター	林業専門技術員・研究員	マツノマダラカミキリ等の生態と防除技術について	森林害虫の生態、防除法について理解を深めた
	森林土壌及びその調査方法の研修	林業改良指導員	10人	15年12月4日	栗源町公民館	林業専門技術員・研究員	森林土壌の種類及び調査方法について	森林土壌の種類及び調査方法について理解を深めた
	高性能林業機械の研修	林業改良指導員	12人	16年2月19日	鴨川市(嶺岡県有林)	林業専門技術員・協力員	高性能林業機械(プロセッサ)の操作研修	高性能林業機械の操作技術を習得した

## (5) 千葉県林業を育てる会

回数	年度	視察研修先	内 容	参加者数
1	H8	栃木県大田原市	間伐材加工、木材共販所	78人
2	9	愛知県額田町	林業経営、間伐施業	72
3	10	山梨県南部町	富士川林業地（林業経営、木材共販所、竹炭）	73
4	11	福島県いわき市	緑川平寿氏の林業経営	70
5	12	宮城県鳴子町 山形県金山町	中新田エノキタケ生産組合及び高友林業（100年の主伐） 金山林業 間伐、山村活性化等森林組合の取組み	157
6	13	富山県立山町 氷見市仏生寺	タテヤマスギ林業地（大スギ、長伐期複層林） ボカスギ林業地（さし穂林業）	85
7	14	群馬県利根郡利根村 沼田市	高性能林業機械等視察（林野庁 森林技術総合研修所 林業機械化センター） 菌床きのこ栽培技術研修（森産業（株）沼田工場）	71
8	15	長野県中野市、 長野市	列状間伐（カラマツ） 北辰木材流通加工センター	71

## (6) 千葉県指導林家・林業士認定状況（平成16年3月末現在）

（単位：人）

区 分	指 導 林 家	林 業 士	計	備 考
千 葉	9	9	18	
東 葛 飾	2	1	3	女性1名（林業士）
印 旛	7	3	10	
香 取	3	7	10	
海 匝	1	2	3	
山 武	6	13	19	女性1名（林業士）
長 生	7	7	14	女性1名（林業士）
夷 隅	9	4	13	女性1名（林業士）
安 房	7	11	18	女性1名（指導林家）
君 津	7	10	17	
計	58	67	125	

## (7) 林業機械器具の現況

番号	機 械 種 名		備 考	単 位	地方公共団体 学 校	
1-1	索 道	索道重量式		セット	0	0
1-2		索道動力式		セット	0	0
2-1	集 材 機	小型集材機	動力10ps未満	台	1	0
2-2		大型集材機	動力10ps以上	台	1	1
3	モ ノ ケ ー ブ ル		ジグザク集材施設	台	0	1
4	リ モ コ ン ウ ィ ン チ		リモコン、ラジコンによる可搬式木寄せ機	台	0	0
5	自 走 式 搬 器			台	2	0
6	モ ノ レ ー ル		懸垂式含む	台	0	1
7-1	運 材 車	動力20ps未満のもの		台	1	0
7-2		動力20ps以上のもの		台	4	1
8-1	ホイールタイプトラクタ		林内で集材等の作業を行うホイールタイプのトラクタ	台	0	0
8-2	クローラタイプトラクタ		上記でクローラタイプのもの	台	0	0
9	育 林 用 ト ラ ク タ		主として地拵え等の育林作業用	台	0	0
10	フ ォ ー ク リ フ ト			台	4	0
11	フ ォ ー ク ロ ー ダ			台	0	0
12-1	クレーン	運材機能なし	トラッククレーン、ホイールクレーン等	台	2	0
12-2		運材機能あり	クレーン付きトラック	台	0	1
13-1	グラップル	運材機能なし	グラップルローダ作業車	台	0	0
13-2		運材機能あり	グラップルローダ付きトラック	台	0	0
14	ト ラ ク タ シ ョ ベ ル		搬出、育林用等に係わる土工用	台	0	0
15	シ ョ ベ ル 系 掘 削 機 械		搬出、育林用等に係わる土工用	台	1	0
16	チ ェ ー ン ソ ー			台	56	6
17	チ ェ ー ン ソ ー リ モ コ ン 装 置		リモコンチェーンソー架台	台	0	0
18	刈 払 機		携帯式刈払機	台	89	24
19	植 穴 堀 機			台	0	1
20	動 力 枝 打 機	自動木登り式		台	3	1
21		背負い式等の上記以外のもの		台	0	0
22	苗 畑 用 ト ラ ク タ			台	0	1
23	フ ェ ラ ー バ ン チ ャ		立木を伐倒、集積する自走式機械	台	0	0
24	ス キ ッ ダ		牽引式集材専用のトラクタ	台	0	0
25	プ ロ セ ッ サ		枝払い・玉切りする自走式機械	台	2	0
26	ハ ー ベ ス タ		伐倒・枝払い・玉切りする自走機械	台	0	0
27	フ ォ ワ ー ダ		積載式集材専用車両	台	1	0
28	タ ワ ー ヤ ー ダ		元柱を具備した自走式機械	台	2	0
29	ス イ ン グ ヤ ー ダ		簡易索張方式に対応し、かつ旋回可能なブームを装備する集材機械	台	0	0
30	その他の高性能林業機械		従来の高性能林業機械上記7機種以外の以外の高性能林業機械	台	0	0
31	グ ラ ッ プ ル ソ ー		巻立・玉切り自走式機械	台	1	0
32	樹 木 粉 碎 機		伐倒木、伐根、枝条等を粉碎する機械	台	4	0

注) 1. この調査で対象とする林業機械は、主として伐採、搬出（貯木場での作業を含む）、育林（苗木生産、地拵、植付、下刈、  
2. 林業機械は、平成15年度において1日以上稼働したもののみを掲げるものとし、平成16年3月31日現在保有している

(平成16年3月31日現在)

所 有 区 分 別 数 量							
会 社	森 林 組 合	そ の 他 組 合 等		集 落	研 究 機 関	個 人	合 計
		支 援 セ ン タ ー	そ の 他				
28	0	0	0	0	0	5	33
0	0	0	0	0	0	1	1
24	4	0	0	0	0	36	65
25	2	0	0	0	0	24	53
0	1	0	1	1	0	13	17
1	4	0	0	0	1	20	26
2	1	0	0	0	0	0	5
0	0	0	0	0	0	1	2
4	5	0	7	0	2	47	66
0	3	0	0	0	0	86	94
2	1	0	0	0	0	1	4
3	0	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0
147	6	0	0	0	1	45	203
21	0	0	0	0	0	2	23
12	1	0	0	0	0	11	26
109	7	0	0	0	0	27	144
3	0	0	0	0	0	1	4
4	2	0	0	0	0	4	10
6	0	0	0	0	0	1	7
16	0	0	4	0	0	20	41
884	61	0	84	2	8	3,338	4,439
0	0	0	0	0	0	0	0
261	54	0	15	4	8	4,508	4,963
0	2	0	0	0	0	2	5
1	13	0	1	0	3	121	143
0	2	0	0	0	0	11	13
0	0	0	0	0	2	223	226
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	1	0	0	0	0	0	2
2	2	0	0	0	0	0	8

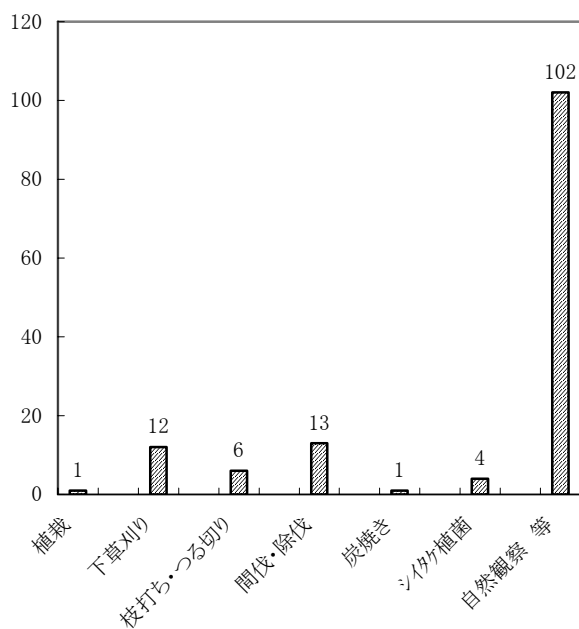
除伐等)に使用されるものとする。(製材工場で使用されるものは含まない)。  
ものとする。

## (8) 平成15年度教育の森の利用状況

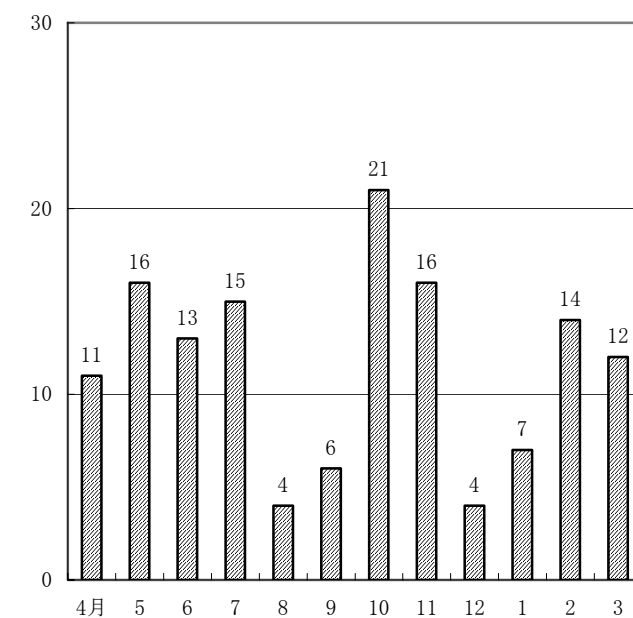
支庁名	利 用 回 数			利 用 人 数		
	学 校 の 授 業 利 用	そ の 他 の 利 用	計	学 校 の 授 業 利 用	そ の 他 の 利 用	計
千 葉	1	11	12	25	126	151
東 葛 飾	1	5	6	31	144	175
印 旛	12	1	13	1,455	30	1,485
香 取	1	0	1	100	0	100
海 匠	0	2	2	0	20	20
山 武	6	4	10	165	42	207
長 生	1	13	14	56	364	420
夷 隅	12	0	12	1,480	0	1,480
安 房	2	0	2	12	0	12
君 津	60	7	67	3,593	285	3,878
計	96	43	139	6,917	1,011	7,928

- 1) 学校の授業利用の内容は、主として授業時間での利用  
 2) その他の利用とは1)以外の利用を指す

### 【利用形態別内訳】



### 【月別利用実績】





### (9) 教育の森の認定数の推移

支庁名	年度別認定数											
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	累計
千 葉						(4)	(3)	(3)	(2)	(1)	(3)	
	4	3	3	2	1							12
東 葛 飾						(2)	(2)				(2)	
	2	2	—	—	—						1	5
印 旛						(5)	(4)	(3)	(1)	(2)	(5)	
	5	4	3	2	2				1			16
香 取						(4)	(3)	(1)	(1)		(6)	
	4	6	2	1	—		2		1		1	15
海 匝						(3)	(3)		(2)	(1)	(3)	
	3	3	—	2	1						1	10
山 武						(4)	(5)		(1)	(1)	(5)	
	5	5	1	2	1	1	1		1		1	15
長 生						(5)	(5)	(2)	(2)	(1)	(4)	
	5	5	3	2	1							14
夷 隅						(1)	(3)	(1)		(1)	(1)	
	2	4	1	—	1							6
安 房						(5)	(4)	(2)	(1)	(1)	(4)	
	5	5	2	2	1			1		1		14
君 津						(4)	(4)	(4)	(3)	(1)	(6)	
	4	4	4	3	1	2	1				1	20
計						(37)	(36)	(16)	(13)	(9)	(39)	
	39	41	19	16	9	3	4	1	3	1	5	127
累 計	39	80	99	115	124	125	124	122	122	123	127	

1) 教育の森の認定は平成5年度から開始し、認定期間は5年間。

2) 裸書きは新規認定数で、上段( )書きは外数で再認定数。

### (10) 教育の森の利用実績の推移

支庁名	年度別利用回数							年度別利用人数						
	～10	11	12	13	14	15	計	11	12	13	14	15	計	
千 葉	97	23	18	18	18	12	186	320	311	287	236	151	1,305	
東 葛 飾	0	0	0	1	4	6	11	0	0	32	131	175	338	
印 旛	21	10	15	11	12	13	82	1,285	1,960	1,431	1,546	1,485	7,707	
香 取	10	2	0	0	1	1	14	80	0	0	20	100	200	
海 匝	4	2	2	6	5	2	21	50	55	106	50	20	281	
山 武	35	12	29	29	14	10	129	562	991	709	341	207	2,810	
長 生	0	2	1	5	12	14	34	83	72	328	386	420	1,289	
夷 隅	4	4	6	9	0	12	35	67	162	142	0	1,480	1,851	
安 房	6	3	2	6	7	2	26	170	40	346	53	12	621	
君 津	31	8	50	85	101	67	342	438	5,347	5,244	5,460	3,878	20,367	
計	208	66	123	170	174	139	880	3,055	8,938	8,625	8,223	7,928	36,769	

平成10年以前の利用人数はデータがなく不明。